

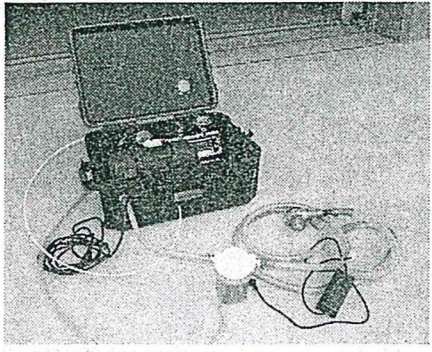
小型淡水化装置を拡販

ワイズグロ―バルビジョン 内外の船舶・農業向け

【那覇】ワイズグロ―バルビジョン（沖縄県うるま市、柳瀬良奎社長、098・923

・1432）は、4月に正式発売した小型海水淡水化装置「MYZ E-40」写真の販

売を軸に2021年8月期の売上高で10億円



を目指す。国内外で船舶用や農業用、生活用の需要を取り込む。

パプアニューギニア向けに約80台の受注が決まった。18年8月期は売上高1億―2億円を見込む。主力製品とするE-40は中型スーツケースサイズで毎時40リットルの淡水化が可能。従来の1300ワットから、400ワットで駆動するモーターに省電力化

して発売した。

現在、大手船舶メーカーや総合商社に代理店網を拡大。今後は海外展示会でのプロモーションに加えて、代理店販売を積極化し売り上げを伸ばす。売上高を19年8月期に4億円台、20年8月期に8億円台とする考え。21年8月期の株式公開も視野に入れる。

拡販にあたり、沖縄県と地銀など官民で出資する「沖縄ものづくり振興ファンド」から4000万円の出資を受けた。